

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

外因性全身 CT 検査プロトコルの被ばく線量と検査時間短縮に関する検討

[研究責任者]

江南厚生病院 診療放射線室 浅野功一

[研究の概要]

当院における全身 CT 検査（以下、Pan Scan）は、内因性と外因性の 2 種類が存在し、それぞれ撮影範囲が異なっていました。外因性 Pan Scan では CT 検査被ばく線量レポート（Dose Report）に記録される DLP（Dose Length Product）が高値を示し、被ばく線量の観点から改善の必要性が指摘されています。

当院では被ばく線量の低減および検査時間の短縮を目的として外因性 Pan Scan の撮影範囲を内因性と統一するとともに、逐次近似再構成法（IR 法）を適用する運用に変更しました。

本研究では、この運用変更の実施に先立ち、検討段階で推定した被ばく線量および撮影時間の変化について評価しました。

内因性 Pan Scan の被ばく線量データについては、過去に撮影された「頭部～顔面骨」および「頸部～骨盤部」のそれぞれの CT 検査被ばく線量レポートの平均数値の合算値を推定値として算出し、その値を外因性 Pan Scan の CT 検査被ばく線量レポートと比較します。さらに、撮影時間についても同様に過去の CT 検査被ばく線量レポートを用いて算出し、プロトコル変更前後での差を検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2020 年 1 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日までに当院で外因性全身 CT 検査、頭部から顔面骨 CT 検査、頸部から骨盤部 CT 検査を受けた患者。

●利用するカルテ情報

CT 検査における被ばく線量（CTDIvol、DLP 値など）

[研究期間]

実施承認日～2025年10月31日

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。
研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 診療放射線室 浅野功一

電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337